

参加費  
無料

## 農業の第三者承継推進フォーラム

担い手の減少と高齢化が進行する中、リタイアする農業者の経営基盤を新規就農者等に引き継ぐ「第三者承継」が注目されています。

その推進に向けては、当事者だけではなく、地域ぐるみのサポートが重要となることから、次のとおり市町村や関係機関、一般農業者等を対象としたフォーラムを開催します。

## 日時・場所

令和4年1月14日（金）13：30～16：00（開場13：00）

青森県総合社会教育センター 大研修室

## 対象者

上限100人（お早めにお申し込みください）

- 第三者承継を地域で推進したい農業者・農業委員・農地利用最適化推進委員の方
- 行政機関やJAにおいて、担い手の確保・育成に係る施策の立案・実行にあたる方
- 農業者等からの第三者承継に係る相談に対応される方  
（市町村担当者、農業委員・農地利用最適化推進委員・事務局担当職員、JA担当者、金融機関担当者、税理士、中小企業診断士、一般農業者、農業法人担当者、県担当者など）

## 内容

## 基調講演「第三者承継の推進に向けて～地域の関係機関が果たすべき役割と課題～」

## 木之内 均 氏（有限会社 木之内農園 代表取締役会長）



東京都生まれ、非農家出身。

大学卒業後、熊本県内で新規就農。有限会社木之内農園を創業し、6次産業化などの多角的経営を実践するほか、日本初の農業者が中心となった農業人材育成団体「NPO法人九州エコファーマーズセンター」を設立し、新規就農者の育成に尽力している。

同センターでは理事長を勤め、第三者承継の支援に取り組むとともに、自らが創業した農業法人を、親族外の第三者に事業承継している。

現在、東海大学経営学部教授・学部長、NPO法人熊本県就農支援協議会理事長などの役職を務め、日本農業のリーダーのひとりとして活躍している。

## 事例紹介「果樹作（ぶどう）における第三者承継」

## 田中 友和 氏（きときと果樹園 山口県）



福岡県庁に15年勤務後、山口県周防町に移住就農。

就農地は15の農家が集まって出来た「須金フルーツランド」の一角、標高200メートルの盆地に果樹園が広がる梨、ぶどうの産地。

農業会議所のHPで、40年以上の経験のある前園主が第三者承継による承継人を募集していることを知り、一念発起して妻と子供3人で移住、承継に向けた研修を開始。

2016年から1年7か月の研修、第三者承継に係るさまざまな困難、紆余曲折を乗り越えてを経て、2017年12月に事業承継、きときと果樹園を開園。

## 研修内容

第三者承継の支援者・実践者による基調講演、事例紹介のほか、県内での普及拡大に向けたパネルディスカッションを通じて、理解を深めます。

	内容	登壇者
13:30-13:35	開会・主催者挨拶	
13:35-14:35	基調講演 演題「第三者承継の推進に向けて～地域の関係機関が果たすべき役割と課題～」	木之内 均氏 (有限会社木之内農園代表取締役会長)
14:45-15:15	第三者承継の事例紹介	田中 友和 氏 (きときと農園代表)
15:20-16:00	パネルディスカッション 演題「第三者承継の推進に向けて、地域が取り組むべきこと」	コーディネーター ○高田 裕司 氏 (J-PAO上席コンサルタント) パネラー ○木之内 均 氏 (有限会社木之内農園代表取締役会長) ○田中 友和 氏 (きときと農園代表) ○高橋 哲史 氏 (株式会社百姓堂本舗代表取締役社長)

## 申込方法

**申込期限：令和4年1月7日（金）**

必要事項をご記入の上、下記フォーラム事務局までFAX等でお申し込みください。  
なお、電子メールの場合は、この申込用紙の必要事項が分かるようにご記入ください。

**申込先：青森県農林水産部構造政策課担い手育成G 宛て**  
**FAX 017-734-8136**  
**E-mail makoto\_igarashi@pref.aomori.lg.jp**

### お申込用紙

所 属	
氏 名	
連絡先 (電話番号等)	

感染症の状況により、急遽日程を変更する場合がありますので、連絡先に電話番号等を必ず記入ください

## ■お問い合わせ先

運営主体：NPO法人日本プロ農業支援機構（TEL：03-6684-1015／担当：高田）

事務局：青森県農林水産部構造政策課担い手育成グループ（TEL：017-734-9463／担当：五十嵐）